

5年生

フォレストリースクール

2月1日(火)

群馬県では、森林や環境についての学習支援として「小・中学生のためのフォレストリースクール」を実施しています。

5年生はその制度を活用し、「わたしたちの生活と森林」について学習しました。



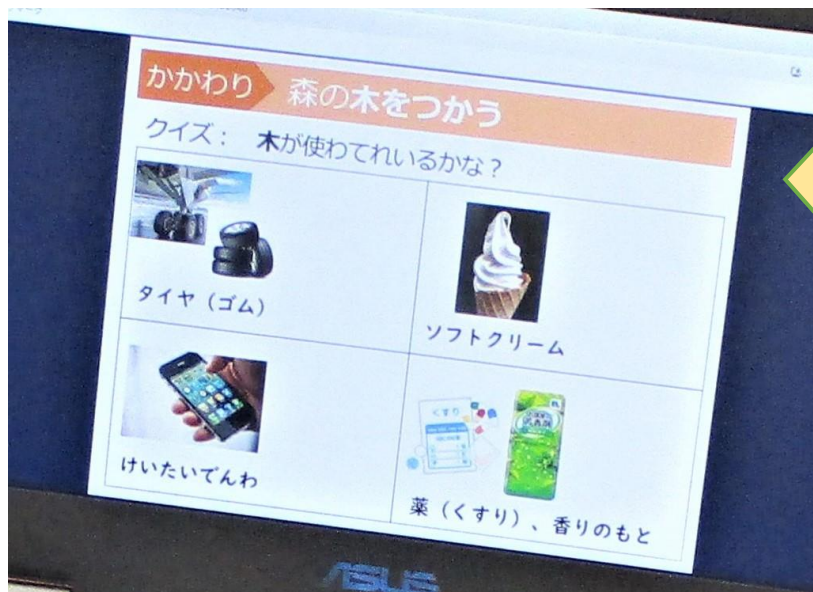
学習内容は大きく分けて4つです。

各学級にそれぞれ2名ずつ、8名の講師にお越しいただきました。



有名な童話「ももたろう」の・・・
おじいさんは山へしば（柴）かり
に・・・ 柴の話から学習がスタート
しました。





講師から出題されたクイズです。

4つの物のうち、木が使われているのはどれでしょうか？

その答えに驚きの声がありました。

林業についての学習へと進みました。

使用する道具を実際に見ることができました。



林業の様子を見たことがないこの地域の児童にとっては、初めて聞くこと・見る物が多く、とても新鮮な様子です。





チェーンソーを使って木を切り倒す方法を習っています。児童は身を乗り出して話に聞き入っていました。



カメラを構えているのは上毛新聞の記者の方です。翌日の新聞に載っていました。



学習の最後は体験です。丸太を切る経験は初めての児童がほとんどです。林業を身近に感じ、森林の大切さを学ぶ貴重な体験学習でした。